



水中ロボット（部分）

附属高 水中ロボット全国第3位

長崎総合科学大学附属高等学校の部活動 NiAScience がこの夏に東京・海洋研究開発機構が開催した「'17 水中ロボットコンベンション in JAMSTEC」で第3位とニッスイ特別賞を受賞しました。

長崎総合科学大学附属高等学校 3年

吉田 匡希くん

里 和樹くん

長崎総合科学大学

佐藤 雅紀 准教授



NiAScience とは

長崎総合科学大学附属高校の部活動の一つ。各種ロボコンに挑み続ける。ロボコン部と科学部が統合され名称変更となった。元々は、今回の全国大会に出場した二人が1年生であったとき、校長先生にロボコンへの思いを直訴したことに始まる。顧問は同大学の知能情報コースの佐藤雅紀准教授。本高校の特性を活かした高大連携のかたちとして特色を発揮している。

佐藤先生にお聞きしました

1回戦では愛知県立三谷水産高校と対戦。一試合での最多得点で勝ち上がりました。準決勝では昨年度の準優勝チームと対戦。非常に競った試合の末に引き分けとなりました。従来であればじゃんけんでしたが、試合内容が評価されて延長戦となり、ここで惜しくも敗れました。3位決定戦でも安定した戦いで第3位となりました。また、最多得点が評価され、ニッスイ特別賞を受賞しました。

試合はプール内のゲートをくぐり、広域エリア及び難関とされる海藻森林に置かれたアルミ缶とスチール缶を回収して得点を競う形式です。主催者から基本キットが配布され、各チームが基板のハンダ付けから改造まで自主的に取り組みます。他チームが網を模した回収機構を取り付け動きが鈍くなる中、里君と吉田君は針金を用いた回収機構を考案し、ロボットは軽快な動きのまま缶を回収することができました。

試合中は、生徒・指導者ともヒートアップします。準決勝では両校とも動きがよかったこともあって、会場も沸いていました。今回の二人は前向きで、本番に強かったことが印象的でした。ますます部活動が活性化し、生徒たちがロボットへの興味を深めてくれるとうれしく思います。

‘17 水中ロボットコンベンション in JAMSTEC
～海と日本プロジェクト～

開催日：平成 29 年 8 月 25 日（金）～ 27 日（日）
主催及び会場：国立研究開発法人海洋研究開発機構（JAMSTEC）横須賀本部
共催：
独立非営利活動法人 日本水中ロボネット
国立研究開発法人 海洋研究開発機構
公益社団法人 日本船舶海洋工学会
IEEE / Oceanic Engineering Society (OES) 日本支部
Marine Technology Society (MTS) 日本支部
テクノオーシャン・ネットワーク (TON)